

授業科目名 (英文名)	交通経済学 (経済学部・専門教育科目) (Transport Economics)	科目区分 対象学生	
単位数	4.0	開講年次・ 学期	2
担当教員	兒山 真也	所属	経済学部
オフィス・場所		連絡先	
講義目的及び到達目標	<p>講義目的：交通経済学の基礎理論を学び、交通政策や交通産業に対する理解を深める。</p> <p>到達目標：交通政策や交通産業について、専門的観点から考察するための基本を身に付ける。</p>		
講義内容・授業計画	<p>講義内容 本講義ではまず交通をめぐる現状と課題について概説する。次いで交通経済学の基礎理論を紹介し、交通政策および交通産業の課題やそれらへの対応について検討する。</p> <p>授業計画</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. ガイダンス / 交通とは何か / 交通の重要性 2. 交通の課題 / 交通政策基本法 3. 交通政策の目的 4. 時間価値の考え方 5. 時間価値をより深く理解 6. 消費者余剰と生産者余剰 7. 交通と市場の失敗(1)自然独占 8. 交通と市場の失敗(2)外部効果、公共財、情報の非対称性 9. 交通サービスの特性 10. 交通のデータ(1)人、人キロ、トリップ、輸送効率 11. 交通のデータ(2)輸送密度、自動車保有台数、その他留意事項 12. 交通の費用 13. 運賃・料金体系(1)第3級価格差別 14. 運賃・料金体系(2)第1級・第2級価格差別、二部料金 15. 混雑料金の理論 16. 混雑料金政策 17. 運賃・料金水準(1)総括原価方式 18. 運賃・料金水準(2)インセンティブ規制 19. 規制緩和の理論と政策 20. 費用便益分析(1)三つの手法の概略 21. 費用便益分析(2)三つの手法をより深く理解 22. 費用便益分析(3)道路事業の費用便益分析 23. 交通と環境 24. 交通と安全 25. 交通事業の国際展開 26. 物流・ロジスティクス 27. 鉄道 28. 自動車交通 (バス・タクシー) 29. 海運・港湾 30. 航空・空港 31. 評価 (定期試験) 		
テキスト	指定しない		
参考文献	<p>竹内健蔵 (2018) 『交通経済学入門 新版』有斐閣 田邊勝巳 (2017) 『交通経済のエッセンス』有斐閣 中条潮・田邊勝巳・後藤孝夫 (2018) 『経済学で読み解く交通・公共政策』中央経済社 衛藤卓也・大井尚司・後藤孝夫 (2018) 『交通政策入門 第2版』同文館出版 山内弘隆・竹内健蔵 (2002) 『交通経済学』有斐閣 竹内健蔵・根本敏則・山内弘隆編 (2010) 『交通市場と社会資本の経済学』有斐閣</p>		

	日本交通学会編 (2011) 『交通経済ハンドブック』白桃書房
成績評価の基準・方法	<p>成績評価の基準：経済学部の規程に基づく。</p> <p>成績評価の方法： 提出物30%、期末試験70%を基本とし、授業への参加姿勢（発言等）を加味する。 7割程度の出席がない者は期末試験の受験資格がないものとする。</p>
履修上の注意・履修要件	ミクロ経済学の最も基礎的な部分を理解していることを前提とする。
実践的教育	該当しない。
備考	UNITY単位互換講座の2019年度学内提供科目でもある（他大学の学生が若干名、履修する可能性がある）。